

2
月号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 ふじの 良次

県政
レポート

Vol.

151

2025年
2月号



“県土の均衡ある発展”へ

「新アリーナ」の整備!

昨年の11月に“知事臨時記者会見”が行われ、2031（令和13）年に開催される「国民スポーツ大会」に向け整備を計画していた「新アリーナ」について、県立医科大学附属病院前に新設される近鉄橿原線の“新駅西側”に候補地を変更する方針を発表されました。

新アリーナの建設は、当初、橿原公苑の第1体育館と第2体育館を統合して建設する方向で進められてきましたが、県と橿原市による県立医大周辺のまちづくりの協議で浮上した医大前の新駅西側を新たな候補地に加え検討が行われてきました。

比較検討した結果、新駅西側は、橿原公苑に比べ、土地造成や市有地の取得費が必要になるなど、スケジュールや費用面で劣る点はあるものの、2030年度中に「医大新駅」が供用開始予定であるこ

とから、まちづくりへの相乗効果が評価され、決定に至りました。

一方、当初の候補地に挙げていた橿原公苑の両体育館については、除去後の新たな利用方法について、今後、検討されることとなっています。

新アリーナの規模は、競技床面積が2千500平方メートル以上、観客席5千席程度、総事業費は、約250億円。国民スポーツ大会の開会式を始め、各種スポーツやコンサートのほか、防災にも利活用されます。

周辺地域においては、駅前への県内最大のアリーナ建設で集客力向上や、周辺への商業施設進出などに期待が寄せられています。

私たち県議会といたしましても、“県土の均衡ある発展”という観点から、中南和地域の活性化は県政課題であり、今後の整備に向けた取り

組みについて関心を持って見守ってまいりたいと思っています。

さて、2月定例議会は、今月25日から開催予定です。

今年に入り示された、令和7年度一般会計予算要求額（部局別・予算要求額）は、6千076億円となっていますが、引き続き、予算編成作業が進められ、2月定例議会に上程されます。新年度における取り組みについては、慎重に審議・審査を行ってまいりたいと思っています。

また、今議会、私「ふじの良次」は、本会議における「一般質問」を行う予定です。“暮らしに寄りそう県政”の実現を目指すべく、医療や介護、教育や子育てにおける課題を掲げ、更なる取り組みの充実と政策の提言・提案を行ってまいります。

皆様のご声援よろしく願いいたします。

ふじの良次ホームページ

<https://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。



ふじの良次 政務活動事務所

大和郡山市筒井町673-3

TEL 59-5155 FAX 59-5158

・近鉄筒井駅下車、北へ徒歩2分

・事務所、西向かいに駐車場があります



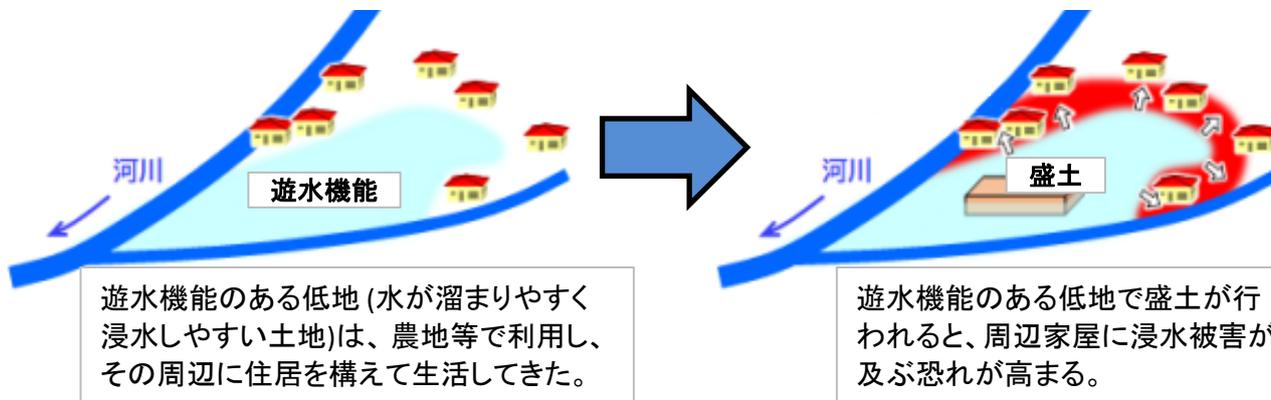
大和郡山市で貯留機能保全区域を指定！



市として全国初！（川西町・田原本町に続き全国3例目）

貯留機能保全区域とは、その土地が元来有している遊水機能（貯留機能）を可能な限り保全していくことを目的としており、浸水被害の拡大を抑制する効用があると認められる区域を貯留機能保全区域として県が指定することができる制度です。

大雨での洪水時に田畑に水を逃して一時的にためておく、この貯留機能保全区域について、大和川特定都市河川流域内の奈良県大和郡山市番条地区において、地元住民協力のもと、市として全国で初めて（川西町、田原本町に続き全国で3例目）指定されました。



遊水機能のある低地（水が溜まりやすく浸水しやすい土地）は、農地等で利用し、その周辺に住居を構えて生活してきた。

遊水機能のある低地で盛土が行われると、周辺家屋に浸水被害が及ぶ恐れが高まる。

貯留機能保全区域に指定された区域では・・・

規制

盛土等の貯留機能阻害有為を行おうとする場合は「届出」が必要になります。また、知事は必要に応じて助言又は勧告を行うことができます。

支援策

固定資産税等について、指定後3年間、標準課税を市町村の条例で定める割合に軽減します。

令和6年度県民アンケート調査結果

県民の暮らし向きの実感及び奈良県が進める政策に関する意識やニーズなどを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、今年度もアンケート調査が実施されました。

調査地域 : 奈良県全域
 調査対象 : 県内在住の満20歳以上の個人
 調査標本数 : 5,000人
 有効回答数 : 2,399件(有効回答率 48.0%)
 (参考) 昨年 49.1%

暮らし向きについての質問では、「苦しくなった」と答えた人の割合は、3年連続で増加。その理由を確認すると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」と回答した人の割合が67.7%と3年連続で50%を超えました。調査結果の一部を掲載します。



● 1年前と比較した暮らし向きの実感(問2)(数値は当該回答をした者の割合)

	R4	R5	R6		R4	R5	R6
楽になった※1	6.8%	6.5%	6.7%	苦しくなった※2	39.2%	43.8%	45.6%

※1「とても楽になった」、「少し楽になった」の合計。 ※2「少し苦しくなった」、「とても苦しくなった」の合計。

POINT 「苦しくなった」と答えた人の割合は3年連続で増加。



● 将来の奈良県での定住意向(問6)(数値は当該回答をした者の割合)

	R4	R5	R6		R4	R5	R6
住みたい※1	66.8%	68.9%	66.5%	住みたくない	6.1%	5.6%	6.5%

※1「ずっと住みたい」、「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」の合計。

POINT 「住みたい」と答えた人の割合は減少。

詳しくは奈良県ホームページをご覧ください。

★ 今後奈良県に力を入れてほしい分野についての質問では、「福祉・介護の充実」が県全体で第1位となり、40歳代以下では「こども・子育て支援」が第1位となりました。

